公益財団法人 旭硝子財団

**2023年度（2022年度募集） 「若手継続グラント」申請書**

|  |  |
| --- | --- |
| **分野** いずれかに囲み線をつける | 化学・生命 物理・情報 　建築・都市 人文・社会科学 |
| **研究課題** |
| **申請者**氏 名： xx xx　　　（フリガナxxxxx　xxxxx）　　　　　生年月日：19xx年 xx月 xx日（xx才）所属機関： xx大学大学院xx研究科xx専攻 職位：xx　　　　　　　　　　　＜職位： 常勤／それ以外　(どちらかに囲み線をつける)＞　＜任期付の場合：20xx年 xx月までの任用見込＞ ＜クロスアポイントメント： 無／有　(どちらかに囲み線をつける)　 ※有の場合、上記所属機関の割合は、xxパーセント＞所属機関所在地：(〒xxx-xxxx) xxx県xxx市xxx町xxx[TEL] xx-xxxx-xxxx　[携帯TEL] xxx-xxxx-xxxx　[上記所属機関の本人E-Mail] xxxxx@xxx.ac.jp |
| **助成額区分**いずれかに囲み線をつける |  実験研究 調査研究 | **助成申請額** 3年間の合計額 | x,xxx千円 |
| （下の文章記入欄には3ページ目以降の記述内容を要約してください。最も重要なポイントについて、アンダーラインを引いてください。各項目の行数を変えることはできますが、このページ内に収まるように配慮してください） |
| **申請者が過去に旭硝子財団から助成を受けた研究課題**・分野(いずれかに囲み線をつける)：第1/化学・生命 第2/物理・情報 第3/建築・都市 人文･社会科学・研究課題名: xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx・採択年度： 20xx年 ・助成期間： x年間 ・助成総額： x,xxx千円・成果(進捗実績)に関する自己評価：  |
| **今回申請する研究の概要**１）今までの研究歴と成果：旭硝子財団からの助成により得られた成果についても明記すること２）今後3年間に取組みたい研究テーマの背景と目的･目標、ブレークスルー（アプローチ）の方法３）今後3年間に取組みたい研究テーマの独創性、学術的または社会的な意義と波及効果４）以上の研究活動を通じて将来どのような研究者になりたいのか、自由記載：自己アピールすること |
| **１．申請者の略歴、研究分野、業績** 各項目の行数を変えることはできますが、このページ内に収まるように配慮してください１）学歴･職歴(大学入学から記載してください)※クロスアポイントメントの場合、それぞれの勤務先の従事割合を記載してください。 　○○大学　□％、××研究所　△％２）これまでに行った主な研究と成果（旭硝子財団からの助成により得られた成果についても明記すること）３）受賞関係（年月、表彰機関、受賞の名称、題名など） |
| **２．共同研究者**(申請者と共同して研究PJ全体に参加する研究者)、**研究協力者**(補助的あるいは部分的に参加する研究者)： どちらであるかを囲み線で示してください ①〔氏名・年齢〕 （ 才） 〔所属機関・職名〕 （共同，協力） ②〔氏名・年齢〕 （ 才） 〔所属機関・職名〕 （共同，協力） ③〔氏名・年齢〕 （ 才） 〔所属機関・職名〕 （共同，協力） |
| **３．今後3年間に取組みたい研究の内容** 各項目の行数を変えることはできますが、このページ内に収まるように配慮してください１）研究の背景と目的・目標２）設定された目的・目標に対するブレークスルー(アプローチ)の方法 どのようにして課題を達成/解決/克服するのか３）研究計画 助成金の使途と関連づけながら時系列的に説明して下さい。矢印やテキストボックスなどを使っても構いません |
| 各項目の行数を変えることはできますが、このページ内に収まるように配慮してください４）類似の研究に対する先行性、研究の独創性･独自性５）研究の学術的または社会的な意義と波及効果 |
| **４．以上の研究活動を通じて将来どのような研究者になりたいのか、自由記載(自己アピール)** |

**５．助成金使途内訳** (記入例をアンダーラインで示しました。使途として例えば人件費は認められません。
詳細は当財団ホームページに公開の「研究助成の手引き」をご参照ください)

〔金額単位：千円〕

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 費　　目 | 1年目 | 2年目 | 3年目 | 内容・使途説明 |
| ＜設備・備品費＞・必要な消耗品費等も申請してください装置Ａ装置Ｂ＜消耗品費＞Ｃ器具部品Ｄ薬品＜旅費＞・受領者本人の旅費が原則です東京～京都東京～鹿児島東京～バンクーバー東京～フランクフルト＜謝金･外注作業費＞・学生が本来行うべき教育研究活動への対価には使えません学生アルバイト同上＜その他＞・論文掲載費・通信費・会議費・施設使用料・学会費、参加費・学会年会費には使えません＜所属機関に支払う間接経費※＞・原則として機関に支払う間接経費（オーバーヘッド）をお断りしています。採択後に学内で免除申請を行ってください | 1,9000350391100500015000000059 | 013004203001000250015015080010050058 | 0030030010000300040025030100805038 | ○○製蒸留装置○○の画像処理のため検査キット、単価○○円、○○個合成用薬品、単価○○円、○○個研究協力者との打合 毎年3回学会発表学会発表、○○教授打ち合わせ学会発表、○○教授打ち合わせ○○のアンケート調査○○時間調査データ整理手伝い論文掲載費海外への資料発送費○○研究者会合の会場費、資料作成費プロジェクト推進のためのスペース代本プロジェクトに関して○○学会に参加予定間接経費2％（免除不可） |
| 小　　　計 | 3,000 | 2,958 | 1,948 | 研究期間を通じた申請の合計額実験研究：化学・生命分野と物理・情報分野は800万円以内、建築・都市分野は600万円以内調査研究：建築・都市分野と人文・社会科学分野は300万円以内原則として1件あたり実験研究は毎年300万円以内、調査研究は毎年100万円以内 |
| 合　　　計 | 7,906 |

※間接経費の免除が不可能な場合には、間接経費を計上してください。間接経費が助成額の5％を超える場合は採択の対象になりません。

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **６．研究資金の受領状況** 科研費等の国の競争的研究費、民間財団等からの助成金はすべて該当します。 ※チーム研究の場合は申請者に直接かかわる金額を記入してください。１）申請者が2021年度以降に受領した競争的研究資金（すべて記載してください）助成開始年度がそれ以前であっても、あるいは本申請と異なるテーマであっても、当該期間に受領したものをすべて記入してください

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 受領年度 | 助成金の名称 | 受領者名（チームの場合は代表者） | 研究課題 | 金額※（千円） |
| ～ |  |  |  |  |
| ～ |  |  |  |  |
| ～ |  |  |  |  |
| ～ |  |  |  |  |
| ～ |  |  |  |  |

２）申請者が現在申請中、あるいは近く申請を予定する競争的研究資金（すべて記入してください）同じ研究（使途）内容で他の機関に助成申請されることは差し支えありませんが、本申請と類似申請が重複でない場合は、相違点を７.の空欄にご記入ください。同一研究内容で他の機関からも重複して採択された場合には、必ず当財団にご連絡ください。どちらかの助成をご辞退いただきます。なお、他の競争的研究資金の採択状況について、12月～1月に問合せをする場合があります。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年度 | 助成金の名称 | 受領者名（チームの場合は代表者） | 研究課題 | 金額※（千円） | 採択内定時期 |
|  |  |  |  |  | ××年××月 |
|  |  |  |  |  | ××年××月 |
|  |  |  |  |  | ××年××月 |

 |
| **７．選考において配慮を希望する事項、他の研究資金との相違点**(自由記載) |

**８．関連論文リスト**本申請に関連する2017年以降の申請者自身の論文リストをこのページに収まる範囲で作成してください。すでに刊行されたものを対象としますが、Acceptされているものも注記を添えて下されば記載して結構です。代表的論文１件に○印を付けるとともに、その○印を付けた代表的論文1件のPDFファイルを本申請書と同時に提出してください。

＜査読論文（掲載またはAccept）＞ **査読論文の中から添付論文を選び、○印をつけ1行目に記入してください。**

添付の代表的論文

1．

2．

3．

＜それ以外＞